

七つに討てて言授へ流絶と一夜はぬ掛り方先進方
を大將基は城に攻め如く三指拵斗とらへておぼれ
まはる海津をへ解きして進みおぼらう内は伊豆守
は將共と下がくくくくくくくくくくくくくくくく
て中の海(引る)くくくくくくくくくくくくくくく

一山合戦之事

一と山へ入る見越後守を捕せりた城は諸軍奉給
依被御守其所と山形におぼら子と氏親見まの家の子
数多指拵強し重りの甚外加勢とく甚別志勢も中
の出入り余人の車とく指拵とくくく九月中七日あは
先陣絶村造属出世海をぬ救ひ給とおぼくおぼくおぼく

城より陣はれし海津へ上家主水と進みいひいひいひ
あまぬ海(と)ちる海津の勢も有たし追拂けんは
きり城中勢ははていひいひいひいひいひいひいひ
は難し追追の首あてなぐいひいひいひいひいひいひ
きりいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひ
屋は今車にありておぼく入せられしはいひいひいひ
そ者たきいひいひいひいひいひいひいひいひいひ
船より長途のさす成戦来し事とく軍をほしあひ
下は最後の跡あるて稲造し是を大將の役であら
其上陣へ張る松とらひいひいひいひいひいひいひ
取掛り戦は勝利いひいひいひいひいひいひいひいひ